

平成 26 年 度  
開星高等学校入学試験問題

(第 1 限 9 : 20 ~ 10 : 10)

国 語

注 意

- 1 「始め」の合図があるまでは、開いてはいけません。
- 2 問題は全部で 4 題あり、7 ページまでです。
- 3 「始め」の合図があったら、まず、解答用紙に受験番号を書きなさい。
- 4 答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 5 「やめ」の合図で、すぐ鉛筆をおき、解答用紙を裏返しにして机の上におきなさい。

本文に関しては、著作権の関係で公開していません。

【『植物はすごい』(田中 修)による】

問一 傍線部㉞㉟の漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

問二 空欄 A D に入る語として最も適切なものを次のア～カからそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ア なぜなら      イ たとえば      ウ もし
- エ そのため      オ しかし      カ あるいは

問三 波線部①「そのようになること」が指す内容を、「くこと」に続く形になるように、文中の語を使って三十五字以内で書きなさい。  
(句読点も一字に数える)

問四 波線部②、③、④、⑥の動詞の中から、自動詞を一つ選び、番号で答えなさい。

問五 波線部⑤「植物たちにとっては、親の地盤を引き継ぐことは、よくないことなのです」とあるが、その理由を文中の語を使って四十字以内で書きなさい。  
(句読点も一字に数える)

問六 波線部⑦「ライオンは、生まれた子どもを千尋の谷につき落とし、這い上がってきたものだけを育てる」と同じ意味をもつことわざとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 子はかすがい
- イ 子に過ぎたる宝なし
- ウ かわいい子には旅をさせよ
- エ 老いては子に従え

問七 本文の内容として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 植物たちは動物に食べられることを完全に拒否できるように、多くの工夫をこらしている。
- イ 植物にとって、生活の場を移動するためには、動物に食べられることが必要である。
- ウ 同じ場所で何代も育つことによって、植物は環境に適応し、収穫量を増やすことができる。
- エ 植物にとっても、人間にとっても、親の地盤を引き継ぐことはよくないことと言える。

問一 傍線部㉑㉒の漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

問二 二重傍線部㉓㉔の語の文中での意味として最も適切なものを次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

㉑ 「口をつぐむ」 ア ほほえむ イ 黙る

ウ シャベリ出す エ 無視する

㉒ 「案の定」 ア 予想通り イ たまに

ウ そのまま エ 意外に

㉓ 「けちをつける」 ア 喜ぶ イ 怒り出す

ウ 泣き出す エ ひどく悪く言う

問三 波線部①「はっとした」とあるが、私は何に気がついたのですか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア おばあちゃんのさがす本がいつか見つければ、おばあちゃんは化けて出ないということ。

イ おばあちゃんのさがす本が見つからないと、おばあちゃんはいくらもずっと生きるということ。

ウ おばあちゃんのさがす本が見つからなければ、おばあちゃんはいくらも少し生きるということ。

エ おばあちゃんのさがす本が見つからなければ、おばあちゃんはいくらも少しで死ぬということ。

問四 波線部②「口を尖らせた」ときの私の心情の説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 必死にさがしている本が見つからない上に、がっかりされたことに怒りがこみ上げてきている。

イ いろいろな本屋をさがしているのに、本屋の悪口を言っていることにながっかりしている。

ウ 本を見つける前におばあちゃんが死んでしまうと困ると思っ、悲しくなっている。

エ おばあちゃんのいのちと本を結びつけて悩んでいるのに責められて、不満に思っている。

問五 波線部③の「ちらりと私を見た」ときの母の心情を六十字程度で答えなさい。(句読点も一字に数える)

問六 波線部④について、このときの私の心情の説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア おばあちゃんの言葉に傷つき、いい年をして少女のように泣く母親にあきれてうんざりしている。

イ おばあちゃんに理解されず落ち込みながらも、思いやる母親の優しい気持ちに浸っている。

ウ おばあちゃんに理解されない母親の気持ちが心の中に流れ込み続け、どうしようもなく思っている。

エ おばあちゃんの言葉に傷つきながらもがんばる母親を見るにつけ、おばあちゃんのがままさにあきれている。

【第三問題】 次の古文を読んで、下のそれぞれの問いに答えなさい。

(上皇が) 亀山離宮のお池に 引き入れなごろうとして  
亀山殿の御池に、大井川の水をまかせられんとて、大井の土民に

お言いつけになつて  
仰せて、水車を造らせられけり。多くの銭を賜ひて、数日に

骨を折って作り上げて  
宮みだして掛けたりけるに、おほかためぐらざりければ、とかく

直しけれども、つひに回らで、いたづらに立てりけり。

さて、宇治の里人を召して、こしらへさせられければ、

やすらかにゆひて参らせたりけるが、思ふやうにめぐりて、

水をくみ入ること、めでたかりけり。

よろづにその道を知れる者は、やんことなきものなり。

【つれづれ草】による

- (注)
- 〔亀山殿〕 上皇の離宮(建物)。
  - 〔大井の土民〕 大井川沿岸の土地の人。
  - 〔宇治の里人〕 宇治の村人。「宇治」は水車の名所。

問一 傍線部㉞・㉟の読み方を現代かなづかいで書きなさい。

問二 二重傍線部㉠・㉡の主語を次のア・オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア 上皇
- イ 亀山殿
- ウ 大井の土民
- エ 宇治の里人
- オ 水車

問三 波線部①・②の口語訳として最も適切なものを次のア・エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 「いたづらに」
- ア おこつて
- イ むだに
- ウ いたづらをして
- エ わざと
- ② 「めでたかりけり」
- ア みごとであった
- イ つめたかった
- ウ つまらなかった
- エ 当たり前だった

問四 波線部③「その道を知れる者」は、誰を指すか、文中より抜き出して答えなさい。

- ア 大井の土民が作った水車は、うまくまわった。
- イ 宇治の里人が作った水車は、うまくまわった。
- ウ 大井の土民が作った水車はうまくまわらなくて、罰を受けた。
- エ 宇治の里人が作った水車はうまくまわらなくて、罰を受けた。

問五 本文の内容と一致するものを次のア・エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

【第四問題】

「日本が世界に誇れること」というタイトルで、①②③の条件に従って意見文を書きなさい。

① あなたが「日本が世界に誇れること」だと考える事柄を一つ挙げ、その理由も述べなさい。

② 字数は百字以上百五十字以内とする。(句読点や記号も一字に数える)

③ 一マス目から書き始め、段落は設けないこと。